

西山実・岡田重美・山岡光広議員が一般質問

発言順

西山実議員



◆高齢者を狙った消費者被害を防止するための対策◆部活動・遠征等に伴う交通安全対策◆市道・公園等の樹木の適正管理◆アスベスト飛散防止対策の強化

問 5月に福島県で部活動遠征時のバス事故があった。甲賀市における部活動の遠征等の移動方法及び安全確保の体制は。

教育部長 部活動の遠征等は、主に公共交通機関や、道路運送法に基づく許可を得ている貸切バスを利用しており、いずれの場合も、必ず引率教員が同行し、生徒の安全確保や安全運行への協力に努めている。

問 全国で倒木による事故が都市公園や道路において発生している。甲賀市の管理状況はどうか。具体的に、水口高校の正門横の市道側面の桜並木が老朽化している。樹木医による調査と調査にもとづく対策が必要ではないか。また、名坂・東名坂にかけて、伐採した街路樹の切り株が通行の支障となっているので撤去を。

建設部長 定期的に道路および公園の維持管理員による巡回パトロールを実施し、枝葉が伸び視認性が悪い箇所は随時、剪定や伐採を行っている。水口高校横の桜並木は、一部幹が朽ちて空洞化が見られるものが数本あり、専門的な見地による判断が必要と認識している。また、街路樹の切り株は、造園協会の助言に基づき、周辺の植樹樹の破損や歩道への影響を防ぐため、あえて抜根は行わず、切株を残した状態で伐採を行い、自然乾燥・腐食させた後に安全に除去する。

岡田重美議員



◆青土ダム駐車場のトイレ改修◆産廃処分場計画地における地滑りの危険性◆外部委託事業、甲賀湖南権利擁護支援センターばんじーの体制強化◆市営住宅におけるエアコン未設置対策

問 繰り返し改善を求めてきた青土ダム駐車場トイレの改修について、ようやく県は今年度予算を計上した。予算の内容、今後の改修工事の見通しはどうか。

建設部長 トイレを水洗化するための設計費用を計上。令和9年度と10年度に改修工事がされる予定。

問 地質の専門家より、産廃計画地の近くには頓宮断層があり、地すべり地形も多数分布されている。地震が発生すれば地すべりを誘発、地すべり地形に産廃を埋め立て荷重をかけると地すべりが再活動する可能性があり、計画は大変危険なものだとの指摘があった。頓宮断層や地すべりに対する市長の認識はどうか。

市長 過去に地すべりが発生した場所があると認識している。今後、事業者から出される環境影響評価準備書の内容をしっかりと検証し、市民の不安、懸念が払拭されるよう、最大限の努力をしたい。

問 エアコンは生活必需品と認識されている。市民の健康・いのちを守るため、市営住宅条例にそって、エアコン未設置世帯に、エアコンを設置すべきではないか。

建設部長 エアコン設置については整備基準には定められていない。しかし、昨今の猛暑から看過できない。国の動きを注視し、総合的に判断する必要がある。

山岡光広議員



◆イラン情勢の緊迫化の中で石油由来の製品が逼迫・値上がりなどの影響に対する支援策◆学童保育の充実◆信楽地域の小学校統合とその対応◆「学びの多様化学校」◆教員の長時間労働の是正

問 イラン情勢緊迫で原油高騰・ナフサ不足で暮らしや生業に多大な影響が出ている。市民の暮らし、生業への影響、実態把握はしているか。公共施設・公共サービスへの影響はどうか。緊急支援策が必要、「相談窓口」開設を。

市長 地場産業への影響が顕著。信楽焼製造に必要なガス価格の急騰、釉薬や撥水材、接着剤などの値上がりで経営が深刻。荒茶の製造過程に必要なA重油の供給不安も。公共サービスへの影響も重大な課題と認識している。国の重点支援交付金を活用した支援策についても必要な支援が迅速に届けられるよう対応する。「相談窓口」は検討する。

問 第二次甲賀市小中学校再編計画では再来年4月から信楽の5つの小学校が1つに統合される。その場合、遠距離になる通学方法・保障はどうなるのか、通学変更に伴う負担はどうなるのか。

教育部長（多羅尾・小原・朝宮・雲井）通学距離が長くなる児童に対しては、スクールバスによる安全な通学手段を確保したい。現在8路線・マイクロバスとワゴンの運行を考えている。コミバス混乗型ではなく、全部・一部委託化を検討中。スクールバス運行にかかる費用は、市が全て負担すべきものと考えている。

山岡 アメリカが仕掛けた戦争によって中東情勢が悪化しホルムズ海峡が事実上封鎖された影響で、暮らしや生業を直撃している。

岡田 輸入に依存している日本は直撃ですが、世界中に影響が広がっている。地場産業の信楽焼やお茶の製造にも影響、って答弁されていましたね。

西山 国の重点支援交付金を活用した補正予算が最終日に提案されたのはよかったけれど、異常な物価高騰から暮らしを守るには、消費税5%への減税、インボイス廃止が最も効果的だと思うのですが。

岡田 そうそう。総選挙で「食料品ゼロ」と言っていた自民党。その具体化がない。

山岡 その一方で高市政権は、自民・維新が、数を力に、「国旗損壊罪」「比例定数削減」「再審法改正」「皇室典範改正」など強引な政治が目立つ。

岡田 国の政治を反映して党議員団が「女性天皇を正面に掲げた議論を求める意見書」を提案したのはタイムリー。

西山 逆に「男系男子」を強調する意見書も瑞誠の会から提案されました。

山岡 国政の動きに絡んで、三件の請願（憲法・小泉防衛相辞任・スパイ防止法）が提出されたのも特徴ですね。

西山 残念ながら委員会では我が党のみが賛成で不採択に。傍聴者から「なんでや」と驚きの声も。

山岡 国の政治にモノが言えない議員では、平和も暮らしも守れないですね。